

令和5年度 朝来市事務事業評価【外部評価】実施の流れ

1. 実施目的及び実施方法

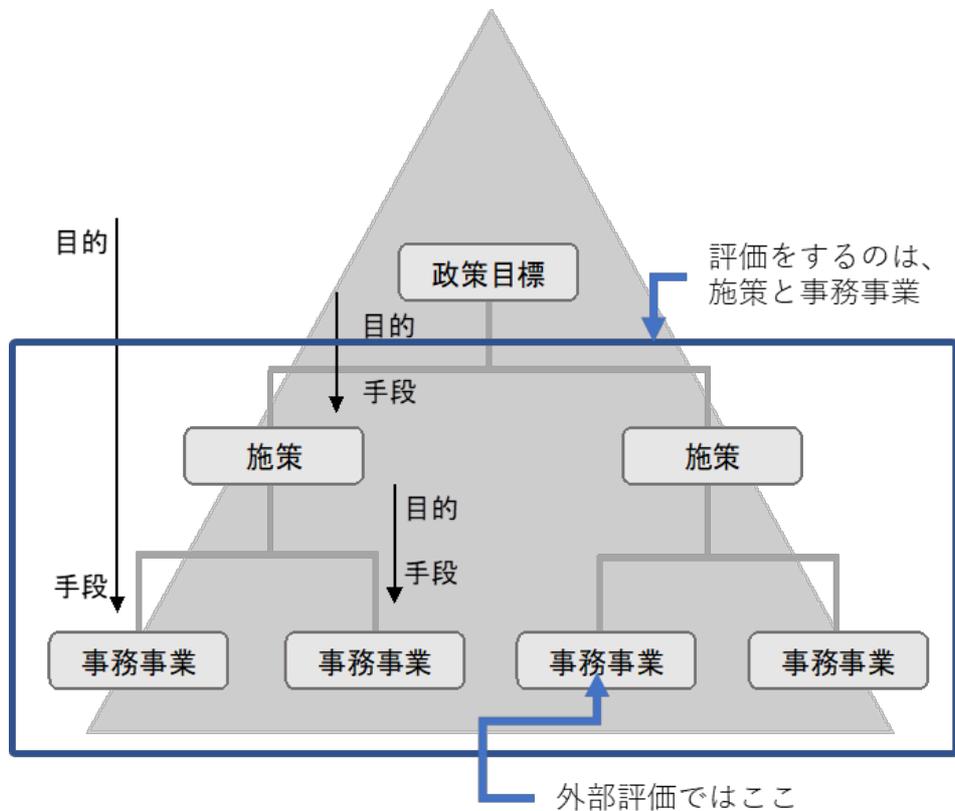
(1) 外部評価の定義とその目的

外部評価とは、行政外部から迎える評価者（外部評価委員）によって、自治体の施策・事業に関する必要性や有効性、効率性・実施主体の妥当性などを議論・検討し、施策・事務事業の見直し・改善に導く評価を行うこと

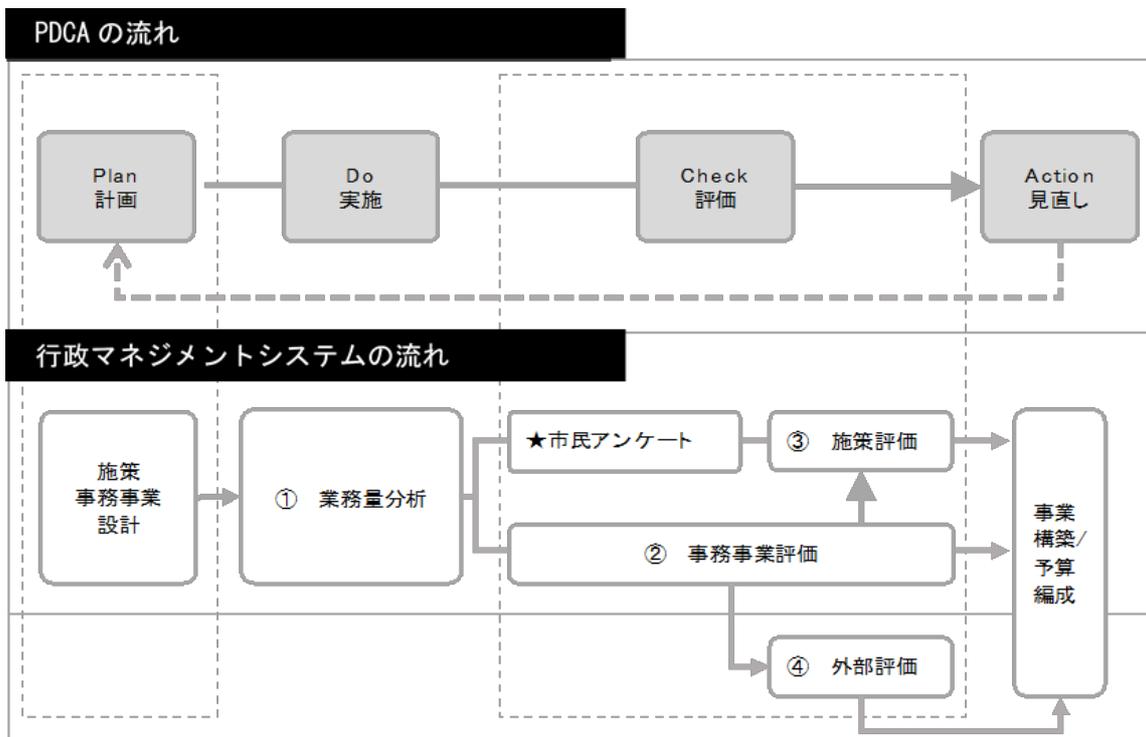
(2) 外部評価の位置付け

外部評価の結果は、予算編成・事業編成を行う際の判断材料の一つと位置付け、最終的な判断は行政の責任において行うこととします。

①政策目標→事務事業の関係



②全体の流れ



(3) 実施方法

【外部評価対象事業数及び進行の流れ】

◇10 事業（2 グループに分かれて 2 日間実施）

【1 日目】 8 月 17 日（木）

- ◇ 13：30～13：50 開会、評価の流れ等説明
- ◇ 13：50～14：25 外部評価①【A 和田山地域振興課／B 市民課】
- ◇ 14：25～15：00 外部評価②【A 朝来支所／B 高年福祉課】
- ◇ 15：00～15：30 振り返り、講評、閉会

【2 日目】 9 月 7 日（木）

- ◇ 13：30～13：35 開会
- ◇ 13：35～15：10 外部評価③【A 生涯学習課／B 学校教育課】
- ◇ 15：10～15：30 振り返り、講評、閉会

※ 担当課の公務の状況により、順序が変更する場合があります。

(4) グループ分け

Aグループ：倉田会長、北見委員、下口委員、玉田委員

Bグループ：山本副会長、恵阪委員、片山委員、中島委員

【評価の流れ】

(0) 事前送付

検討していただく事業に係る各種資料の送付

(1) 00:00~00:10 事業内容の説明 (10分)

送付した資料に基づき、事業担当課からの事業説明。

(2) 00:10~00:25 評価者からの質問 (15分)

各担当課への評価者からの質問。

(3) 00:25~00:35 進行役が中心となつての議論の実施 (10分)

① 委員1人1人からのコメント・議論

② 議論を総括し、進行役を中心として判定 (廃止~拡充まで)

※各担当課は退席

【評価の進め方】

◇各グループで1つの評価結果をまとめていただきます。

(ただし、必要に応じて、少数意見を併記することも可能とします。)

【意見のとりまとめ】

◇各グループの評価者全員が意見を表明した後に、進行役を中心にして評価をとりまとめます。

2. 対象事業及び評価の進め方

(1) 対象事業選定の考え方

【選定する事業 (選定基準)】

以下の事業のうち、総合政策課が選定したもの

○過去に外部評価を行い「改善見直し」との評価を得たが、一部に積み残しがある事業

○令和4年度の行政評価において「改善」となったが、現時点において未対応又は更なる改善に向けて工夫が必要な事業

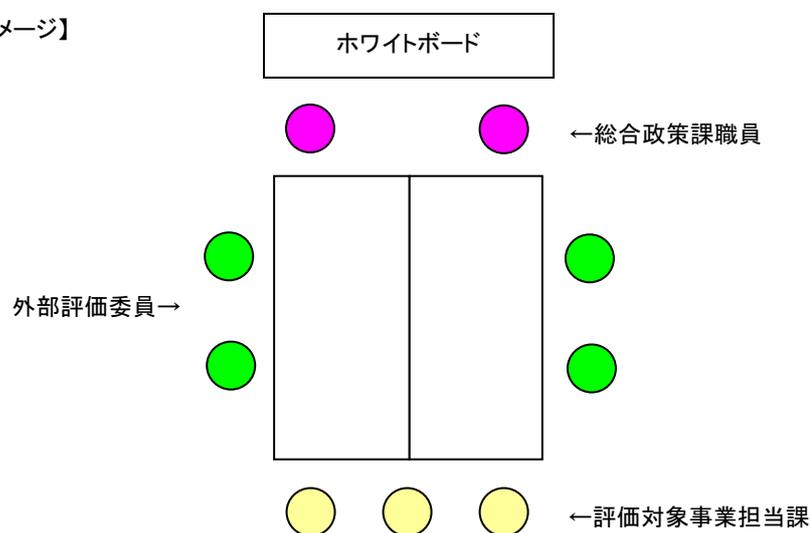
○外部評価により方向性を確認したい事業 (担当課から申し出のあった事業を含む。)

(2) 評価基準

★以下の5つの選択肢から評価をお願いします。

評価	評価基準
1. 拡充	事業規模の拡充・強化の方向で事業を実施していくもの。
2. 継続	現状水準、同様の規模・内容で事業を実施していくもの。
3. 改善	現状の仕組を前提としつつ、実施方法の見直し等により、改善を図るべきもの。
4. 縮小・ 段階的廃止	事業の実施形態の変更や一部廃止など事業を縮小しながらも実施していくもの、または数年をかけて廃止にむけて取り組むもの。 ※上記どちらの方向性で見直しを図るかを明示すること。
5. 廃止	事業を廃止するもの。全く異なる形態で事業を再構築する場合も含む。

【机等配置イメージ】



(3) 評価の視点

視点	チェックのポイント
1. 事業実施の意義 ～なぜ、事業を行うのか？	① 実施の理由は明確か ② 事業実施の必要性は在るのか ③ 事業は他の事業よりも先んじて行うべきか ④ 事業で改善すべき内容は明確か
2. 事業の内容・手法 ～どのように事業を実施すべきなのか？	① 設定された目標は妥当か ② 事業のやり方で最小限の資源で最大限の効果がでるか ③ 事業は民間で代替できないか ④ 事業規模は縮小すべきか/拡大すべきか
3. 事業の効果・課題 ～事業実施の効果は得られているのか？	① 成果が上がっているのか ② 設定した課題を解決できたか ③ 新しい課題はないか